

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容   | グレード | 発見日    |
|----|---|------|--------|
| 1  | 【増設多核種除去設備共沈タンク(A) pH計の不具合について】<br>増設多核種除去設備共沈タンク(A) pH計の点検中に計器校正を実施したところ、計器許容誤差が精度外となったことを確認。<br>今後、計器を交換予定。<br>pHは他の二系統の pH計にて監視可能のため、運転に支障なし。  | GⅢ   | 12月24日 |
| 2  | 【5号機スタックサンプルポンプ(B)異音発生について】<br>当社社員の現場パトロールにおいて、5号機スタックサンプルポンプ(B)の異音を確認。<br>応急処置として、スタックサンプルポンプを(B)から(A)に切替えて、サンプリングを実施。<br>その後、スタックサンプルポンプ(B)を予備品と交換し、運転を再開。<br>スタックサンプルポンプ(B)の異音発生中もサンプリングは正常に行われていたため問題なし。 | GⅢ   | 12月25日 |
| 3  | 【2号機格納容器窒素ガス管理システム 電気ヒータ入口温度計の指示不良について】<br>2号機格納容器窒素ガス管理システムを(B)から(A)へ切替えた際、(B)の電気ヒータ入口温度計の指示不良を確認。<br>(B)の指示不良の原因を調査中。<br>現在は(A)運転のため、温度制御に問題なし。   | GⅢ   | 12月25日 |